

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2023年8月4日まで（2013年8月23日設定）	
運用方針	メキシコ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、メキシコの公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建資産については、為替変動や市場全体のリスクの高まり、景気変動等を定量的に捉えて、為替ヘッジ比率を調整します。また、外国為替予約取引等の運用にあたっては、シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。 マザーファンドにおける債券等の運用にあたっては、F I Lインベストメンツ・インターナショナルに運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビーフンド	メキシコ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	メキシコの公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ メキシコ債券オープン <為替アクティブヘッジ>（毎月決算型）



第75期（決算日：2019年12月4日）
 第76期（決算日：2020年1月6日）
 第77期（決算日：2020年2月4日）
 第78期（決算日：2020年3月4日）
 第79期（決算日：2020年4月6日）
 第80期（決算日：2020年5月7日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替アクティブヘッジ>（毎月決算型）」は、去る5月7日に第80期の決算を行いましたので、法令に基づいて第75期～第80期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	金 騰 落 中 率					
	円	円	円	%	%	%	%	百万円	
51期(2017年12月4日)	7,238		25	1.5	92.7	—	—	117	
52期(2018年1月4日)	6,845		25	△5.1	93.6	—	—	111	
53期(2018年2月5日)	6,942		25	1.8	94.9	—	—	110	
54期(2018年3月5日)	6,579		25	△4.9	93.9	—	—	105	
55期(2018年4月4日)	6,920		25	5.6	94.3	—	—	110	
56期(2018年5月7日)	6,675		25	△3.2	91.4	—	—	106	
57期(2018年6月4日)	6,492		25	△2.4	90.9	—	—	103	
58期(2018年7月4日)	6,568		25	1.6	94.2	—	—	105	
59期(2018年8月6日)	6,631		25	1.3	94.8	—	—	106	
60期(2018年9月4日)	6,407		25	△3.0	92.6	—	—	103	
61期(2018年10月4日)	6,497		25	1.8	92.8	—	—	104	
62期(2018年11月5日)	5,982		25	△7.5	91.6	—	—	95	
63期(2018年12月4日)	5,860		25	△1.6	91.1	—	—	93	
64期(2019年1月4日)	5,917		25	1.4	91.9	—	—	94	
65期(2019年2月4日)	6,078		25	3.1	93.7	—	—	97	
66期(2019年3月4日)	6,192		25	2.3	92.1	—	—	98	
67期(2019年4月4日)	6,234		25	1.1	92.0	—	—	98	
68期(2019年5月7日)	6,191		25	△0.3	90.6	—	—	97	
69期(2019年6月4日)	5,922		25	△3.9	89.7	—	—	93	
70期(2019年7月4日)	6,275		25	6.4	96.8	—	—	99	
71期(2019年8月5日)	6,109		25	△2.2	94.9	—	—	95	
72期(2019年9月4日)	6,131		25	0.8	95.3	—	—	95	
73期(2019年10月4日)	6,292		25	3.0	94.6	—	—	97	
74期(2019年11月5日)	6,481		25	3.4	94.1	—	—	91	
75期(2019年12月4日)	6,289		25	△2.6	94.2	—	—	88	
76期(2020年1月6日)	6,478		25	3.4	93.5	—	—	92	
77期(2020年2月4日)	6,511		25	0.9	93.9	—	—	92	
78期(2020年3月4日)	6,352		25	△2.1	92.5	—	—	91	
79期(2020年4月6日)	5,938		25	△6.1	92.3	—	—	85	
80期(2020年5月7日)	6,137		25	3.8	92.5	—	—	88	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			騰 落 率	率			
第75期	(期 首) 2019年11月 5 日	円 6,481		% —	% 94.1		% —
	11月末	6,369		△1.7	93.4		—
	(期 末) 2019年12月 4 日	6,314		△2.6	94.2		—
第76期	(期 首) 2019年12月 4 日	6,289		—	94.2		—
	12月末	6,560		4.3	93.4		—
	(期 末) 2020年 1 月 6 日	6,503		3.4	93.5		—
第77期	(期 首) 2020年 1 月 6 日	6,478		—	93.5		—
	1月末	6,571		1.4	93.7		—
	(期 末) 2020年 2 月 4 日	6,536		0.9	93.9		—
第78期	(期 首) 2020年 2 月 4 日	6,511		—	93.9		—
	2月末	6,433		△1.2	92.2		—
	(期 末) 2020年 3 月 4 日	6,377		△2.1	92.5		—
第79期	(期 首) 2020年 3 月 4 日	6,352		—	92.5		—
	3月末	6,028		△5.1	93.9		—
	(期 末) 2020年 4 月 6 日	5,963		△6.1	92.3		—
第80期	(期 首) 2020年 4 月 6 日	5,938		—	92.3		—
	4月末	6,103		2.8	93.9		—
	(期 末) 2020年 5 月 7 日	6,162		3.8	92.5		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

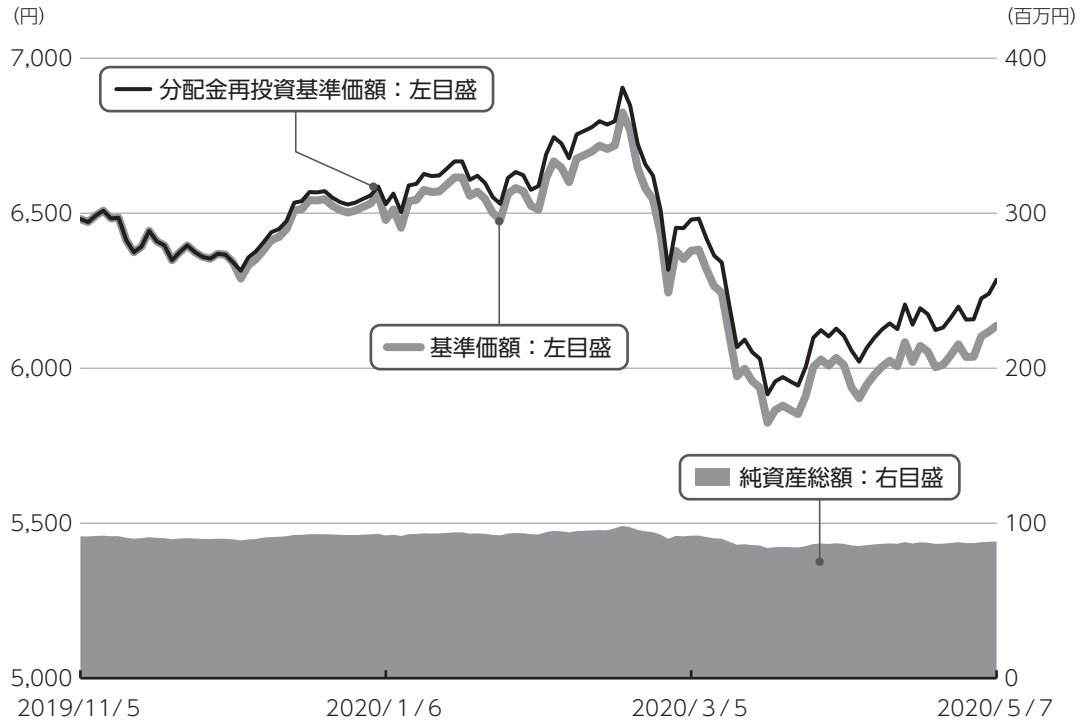
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第75期～第80期：2019年11月6日～2020年5月7日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第75期首	6,481円
第80期末	6,137円
既払分配金	150円
騰落率	-3.0%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ3.0% (分配金再投資ベース) の下落となりました。

> 基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券利子収入を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

信託報酬等に加え、為替ヘッジのためのコストなどが基準価額の下落要因となりました。

第75期～第80期：2019年11月6日～2020年5月7日

投資環境について

▶ 債券市況

メキシコ金利は低下しました。

メキシコ中央銀行が複数回の利下げを行ったこと等を背景に金利は低下しました。

▶ 為替市況

メキシコペソは対円で下落しました。

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴う世界景気減速懸念の強まりや、原油価格の大幅な下落等を背景にメキシコペソは対円で大幅に下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

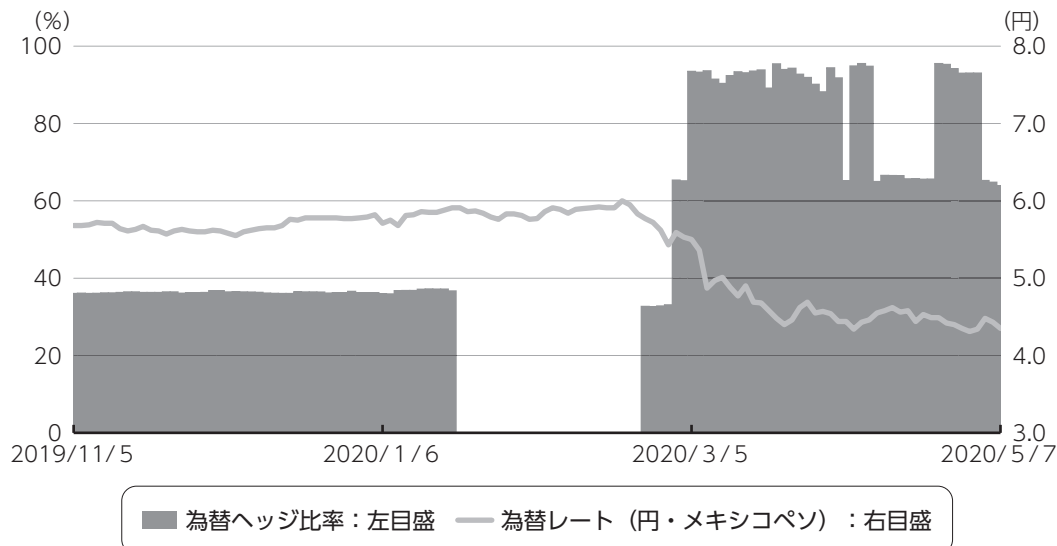
▶ 三菱UFJ メキシコ債券オープン <為替アクティブヘッジ> (毎月 決算型)

主要投資対象であるメキシコ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、メキシコの公社債を高位に組み入れるとともに、実質組入外貨建資産については、為替変動や市場全体のリスクの高まり、景気変動等を定量的に捉えて、機動的に為替ヘッジ比率を調整しました。

2020年2月下旬頃からは、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う投資家のリスク回避姿勢等を背景に、円高・メキシコペソ安が進行したため、当戦略が基準価額下落の抑制要因となりました。

(ご参考)

■ 為替レートおよび為替ヘッジ比率の推移



(注) 為替ヘッジ比率は、ファンドが保有するメキシコペソ建て資産 (キャッシュ含む) に対する割合を簡便的に計算したものです。

▶ **メキシコ債券マザーファンド**

組入比率

現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。

債券種別構成

メキシコ国債を中心に運用を行いました。社債については、財務状況が相対的に安定しており、かつ利回り面でも魅力があると考えるメキシコペソ建て社債を一部組み入れました。

金利戦略

メキシコ国債については、キャリー・ロールダウンの魅力が高いとみて、中・長期ゾーンを中心に投資しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第75期 2019年11月6日~ 2019年12月4日	第76期 2019年12月5日~ 2020年1月6日	第77期 2020年1月7日~ 2020年2月4日	第78期 2020年2月5日~ 2020年3月4日	第79期 2020年3月5日~ 2020年4月6日	第80期 2020年4月7日~ 2020年5月7日
当期分配金 (対基準価額比率)	25 (0.396%)	25 (0.384%)	25 (0.382%)	25 (0.392%)	25 (0.419%)	25 (0.406%)
当期の収益	25	25	25	24	25	25
当期の収益以外	—	—	—	0	—	—
翌期繰越分配対象額	753	769	775	774	777	786

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶三菱UFJ メキシコ債券オープン <為替アクティブヘッジ> (毎月 決算型)

主要投資対象であるメキシコ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、メキシコの公社債を高位に組み入れ、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用する方針です。実質組入外貨建資産については、為替変動や市場全体のリスクの高まり、景気変動等を定量的に捉えて、機動的に為替ヘッジ比率を調整します。

▶メキシコ債券マザーファンド

メキシコ国債を中心に運用します。国債への投資にあたっては、金利変動リスクとキャリー・ロールダウン効果のバランスの点から中長期ゾーンへの投資が魅力的と見ています。社債については、純資産総額の規模や銘柄の流動性などを考慮しながら、金利水準面でも投資妙味が高いと考える銘柄を選別して投資する方針です。

2019年11月6日～2020年5月7日

1万口当たりの費用明細

項目	第75期～第80期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	57	0.906	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(31)	(0.496)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(25)	(0.388)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	3	0.045	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.042)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	60	0.951	

作成期中の平均基準価額は、6,345円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

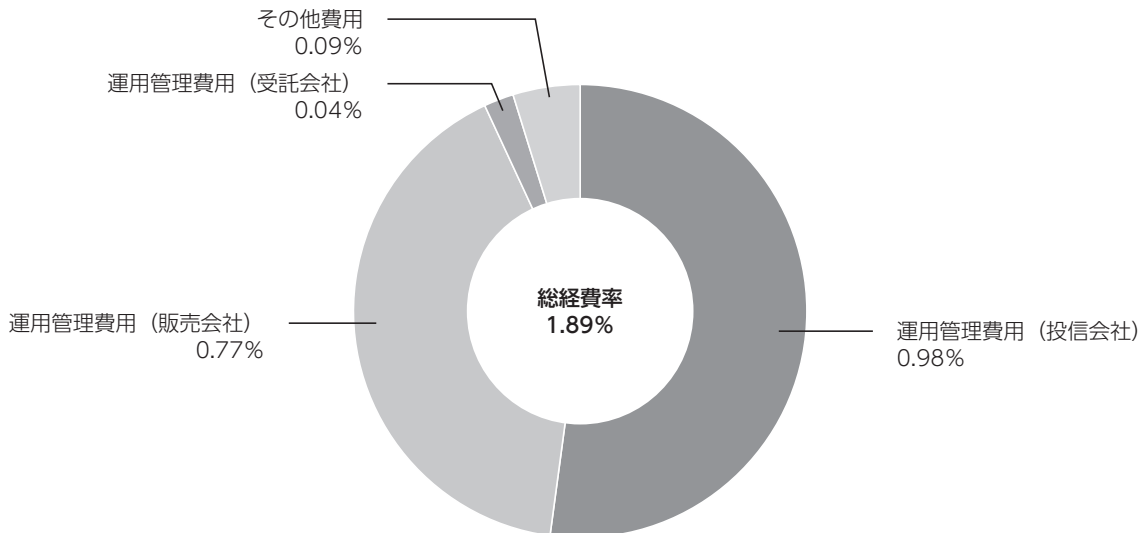
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.89%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年11月6日～2020年5月7日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第75期～第80期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
メキシコ債券マザーファンド	千口 20,270	千円 18,700	千口 5,657	千円 5,830

○利害関係人との取引状況等

(2019年11月6日～2020年5月7日)

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替アクティブヘッジ> (毎月決算型) >

該当事項はございません。

<メキシコ債券マザーファンド>

区 分	第75期～第80期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
為替直物取引	2	—	—	155	35	22.6

平均保有割合 7.1%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2020年5月7日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第74期末	第80期末	
	口 数	口 数	評 価 額
メキシコ債券マザーファンド	千口 80,579	千口 95,193	千円 85,645

○投資信託財産の構成

(2020年5月7日現在)

項 目	第80期末	
	評 価 額	比 率
メキシコ債券マザーファンド	千円 85,645	% 96.4
コール・ローン等、その他	3,234	3.6
投資信託財産総額	88,879	100.0

(注) メキシコ債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産 (1,045,700千円) の投資信託財産総額 (1,056,811千円) に対する比率は98.9%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=106.27円	1 メキシコペソ=4.35円		
------------------	----------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第75期末	第76期末	第77期末	第78期末	第79期末	第80期末
	2019年12月4日現在	2020年1月6日現在	2020年2月4日現在	2020年3月4日現在	2020年4月6日現在	2020年5月7日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	120,960,994	125,035,640	93,236,401	149,773,587	206,921,796	187,018,669
コール・ローン等	1,677,223	1,798,620	1,494,955	2,050,064	2,112,565	2,587,790
メキシコ債券マザーファンド(評価額)	87,420,690	90,504,808	91,741,446	89,139,416	82,854,322	85,645,232
未収入金	31,863,081	32,732,212	—	58,584,107	121,954,909	98,785,646
未収利息	—	—	—	—	—	1
(B) 負債	32,079,358	33,009,204	489,210	58,291,001	121,261,888	98,792,092
未払金	31,587,117	32,504,347	—	57,795,443	120,759,364	98,299,200
未払収益分配金	353,294	355,133	356,106	360,076	360,670	359,385
未払解約金	9,558	—	—	—	—	—
未払信託報酬	129,065	149,347	132,777	135,143	141,503	133,174
未払利息	1	2	—	1	1	—
その他未払費用	323	375	327	338	350	333
(C) 純資産総額(A-B)	88,881,636	92,026,436	92,747,191	91,482,586	85,659,908	88,226,577
元本	141,317,964	142,053,490	142,442,523	144,030,597	144,268,369	143,754,055
次期繰越損益金	△ 52,436,328	△ 50,027,054	△ 49,695,332	△ 52,548,011	△ 58,608,461	△ 55,527,478
(D) 受益権総口数	141,317,964口	142,053,490口	142,442,523口	144,030,597口	144,268,369口	143,754,055口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,289円	6,478円	6,511円	6,352円	5,938円	6,137円

○損益の状況

項 目	第75期	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期
	2019年11月6日～ 2019年12月4日	2019年12月5日～ 2020年1月6日	2020年1月7日～ 2020年2月4日	2020年2月5日～ 2020年3月4日	2020年3月5日～ 2020年4月6日	2020年4月7日～ 2020年5月7日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 45	△ 79	△ 22	△ 5	△ 54	△ 100
受取利息	1	—	—	—	3	1
支払利息	△ 46	△ 79	△ 22	△ 5	△ 57	△ 101
(B) 有価証券売買損益	△ 2,217,552	3,182,514	955,379	△ 1,836,798	△ 5,465,713	3,364,644
売買益	533,986	4,571,983	2,226,638	1,165,929	19,401,085	6,679,959
売買損	△ 2,751,538	△ 1,389,469	△ 1,271,259	△ 3,002,727	△24,866,798	△ 3,315,315
(C) 信託報酬等	△ 129,388	△ 149,722	△ 133,104	△ 135,481	△ 141,853	△ 133,507
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,346,985	3,032,713	△ 822,253	△ 1,972,284	△ 5,607,620	3,231,027
(E) 前期繰越損益金	△38,204,826	△40,900,630	△38,218,750	△37,661,161	△39,989,332	△45,746,750
(F) 追加信託差損益金	△11,531,223	△11,804,004	△11,942,729	△12,554,490	△12,650,839	△12,652,380
(配当等相当額)	(3,985,051)	(4,041,669)	(4,074,939)	(4,215,699)	(4,240,105)	(4,232,749)
(売買損益相当額)	(△15,516,274)	(△15,845,673)	(△16,017,668)	(△16,770,189)	(△16,890,944)	(△16,885,129)
(G) 計(D+E+F)	△52,083,034	△49,671,921	△49,339,226	△52,187,935	△58,247,791	△55,168,093
(H) 収益分配金	△ 353,294	△ 355,133	△ 356,106	△ 360,076	△ 360,670	△ 359,385
次期繰越損益金(G+H)	△52,436,328	△50,027,054	△49,695,332	△52,548,011	△58,608,461	△55,527,478
追加信託差損益金	△11,531,223	△11,804,004	△11,942,729	△12,554,490	△12,650,839	△12,652,380
(配当等相当額)	(3,985,503)	(4,044,222)	(4,075,720)	(4,220,957)	(4,240,728)	(4,233,124)
(売買損益相当額)	(△15,516,726)	(△15,848,226)	(△16,018,449)	(△16,775,447)	(△16,891,567)	(△16,885,504)
分配準備積立金	6,665,658	6,889,700	6,966,886	6,938,014	6,975,720	7,070,859
繰越損益金	△47,570,763	△45,112,750	△44,719,489	△46,931,535	△52,933,342	△49,945,957

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首(前作成期末)元本額 141,178,981円
 作成期中追加設定元本額 3,672,689円
 作成期中一部解約元本額 1,097,615円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.6137円です。
- ② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は55,527,478円です。
- ③ 分配金の計算過程

項 目	2019年11月6日～ 2019年12月4日	2019年12月5日～ 2020年1月6日	2020年1月7日～ 2020年2月4日	2020年2月5日～ 2020年3月4日	2020年3月5日～ 2020年4月6日	2020年4月7日～ 2020年5月7日
費用控除後の配当等収益額	359,734円	579,904円	434,066円	348,078円	399,102円	486,532円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	3,985,503円	4,044,222円	4,075,720円	4,220,957円	4,240,728円	4,233,124円
分配準備積立金額	6,659,218円	6,664,929円	6,888,926円	6,950,012円	6,937,288円	6,943,712円
当ファンドの分配対象収益額	11,004,455円	11,289,055円	11,398,712円	11,519,047円	11,577,118円	11,663,368円
1万口当たり収益分配対象額	778円	794円	800円	799円	802円	811円
1万口当たり分配金額	25円	25円	25円	25円	25円	25円
収益分配金金額	353,294円	355,133円	356,106円	360,076円	360,670円	359,385円

- ④ 「メキシコ債券マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の50以内の率を乗じて得た額、および当ファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、当ファンドの信託財産の純資産総額に対し年10,000分の19.5以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○分配金のお知らせ

	第75期	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期
1 万口当たり分配金 (税込み)	25円	25円	25円	25円	25円	25円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・2020年1月1日以降の分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

* 三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

メキシコ債券マザーファンド

《第14期》決算日2020年5月7日

[計算期間：2019年11月6日～2020年5月7日]

「メキシコ債券マザーファンド」は、5月7日に第14期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	メキシコの公社債を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。運用にあたっては、メキシコの国債、政府機関債、社債等に投資を行います。投資する社債は、メキシコの企業が発行する債券とし、原則として取得時においてBBB一格相当以上の格付けを取得しているものに限りません。なお、社債への投資比率は純資産総額の30%以下とします。メキシコペソ建て以外の公社債への投資比率は、純資産総額の20%以下とします。メキシコペソ以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的にメキシコペソ建てとなるように為替取引を行います。債券等の運用にあたっては、F I レインベストメンツ・インターナショナルに運用指図に関する権限を委託します。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	メキシコの公社債を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
	期 騰 落	中 率			
	円	%	%	%	百万円
10期(2018年5月7日)	9,527	△ 3.2	94.1	—	1,902
11期(2018年11月5日)	9,246	△ 2.9	92.9	—	1,604
12期(2019年5月7日)	10,277	11.2	92.5	—	1,520
13期(2019年11月5日)	11,188	8.9	95.5	—	1,463
14期(2020年5月7日)	8,997	△19.6	95.3	—	1,056

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基準価額		債組入比率	債券先物比率	債券率
			円	騰落率			
	(期首)						
	2019年11月	5日	11,188	—	95.5	—	—
	11月	末	10,984	△ 1.8	95.0	—	—
	12月	末	11,557	3.3	94.7	—	—
	2020年1月	末	11,729	4.8	95.0	—	—
	2月	末	11,439	2.2	95.0	—	—
	3月	末	9,014	△19.4	95.8	—	—
	4月	末	9,075	△18.9	95.3	—	—
	(期末)						
	2020年5月	7日	8,997	△19.6	95.3	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ19.6%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

債券利子収入を享受したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

メキシコペソが対円で大幅に下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎債券市況

- ・メキシコ金利は低下しました。
- ・メキシコ中央銀行が複数回の利下げを行ったこと等を背景に金利は低下しました。

◎為替市況

- ・メキシコペソは対円で下落しました。
- ・新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴う世界景気減速懸念の強まりや、原油価格の大幅な下落等を背景にメキシコペソは対円で大幅に下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて**◎組入比率**

- ・現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。

◎債券種別構成

- ・メキシコ国債を中心に運用を行いました。社債については、財務状況が相対的に安定しており、かつ利回り面でも魅力があると考え、メキシコペソ建て社債を一部組み入れました。

◎金利戦略

- ・メキシコ国債については、キャリー・ロールダウンの魅力が高いとみて、中・長期ゾーンを中心に投資しました。

○今後の運用方針

- ・メキシコ国債を中心に運用します。国債への投資にあたっては、金利変動リスクとキャリー・ロールダウン効果のバランスの点から中長期ゾーンへの投資が魅力的と見ています。社債については、純資産総額の規模や銘柄の流動性などを考慮しながら、金利水準面でも投資妙味が高いと考える銘柄を選別して投資する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2019年11月6日～2020年5月7日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 4 (4)	% 0.041 (0.041)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	4	0.041	
期中の平均基準価額は、10,665円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年11月6日～2020年5月7日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	メキシコ		千メキシコペソ	千メキシコペソ
		国債証券	17,591	21,915
		社債券	—	13,277

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2019年11月6日～2020年5月7日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 2	百万円 —	% —	百万円 155	百万円 35	% 22.6

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2020年5月7日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	%	%	%	%	%
メキシコ	217,490	231,459	1,006,850	95.3	4.1	53.6	32.5	9.2
合 計	217,490	231,459	1,006,850	95.3	4.1	53.6	32.5	9.2

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
メキシコ		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円		
国債証券	10 MEXICAN BONOS 241205	10.0	6,200	7,347	31,960	2024/12/5	
	10 MEXICAN BONOS 361120	10.0	20,000	25,689	111,749	2036/11/20	
	5.75 MEXICAN BONO 260305	5.75	23,300	23,391	101,754	2026/3/5	
	6.5 MEXICAN BONOS 210610	6.5	22,200	22,465	97,726	2021/6/10	
	6.5 MEXICAN BONOS 220609	6.5	30,800	31,566	137,313	2022/6/9	
	7.5 MEXICAN BONOS 270603	7.5	17,400	18,920	82,306	2027/6/3	
	7.75 MEXICAN BONO 310529	7.75	15,700	17,137	74,549	2031/5/29	
	7.75 MEXICAN BONO 421113	7.75	13,000	13,507	58,757	2042/11/13	
	8 MEXICAN BONOS 231207	8.0	27,500	29,900	130,067	2023/12/7	
	8 MEXICAN BONOS 471107	8.0	15,090	16,076	69,934	2047/11/7	
	8.5 MEXICAN BONOS 290531	8.5	8,800	10,095	43,914	2029/5/31	
	8.5 MEXICAN BONOS 381118	8.5	4,700	5,285	22,991	2038/11/18	
普通社債券	7.19 PETR MEX(GL) 240912	7.19	12,800	10,074	43,824	2024/9/12	
合 計					1,006,850		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2020年5月7日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,006,850	% 95.3
コール・ローン等、その他	49,961	4.7
投資信託財産総額	1,056,811	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (1,045,700千円) の投資信託財産総額 (1,056,811千円) に対する比率は98.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=106.27円	1 メキシコペソ=4.35円
------------------	----------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年5月7日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	円 1,056,811,709
コール・ローン等	23,562,733
公社債(評価額)	1,006,850,878
未収利息	25,658,701
前払費用	739,397
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	1,056,811,709
元本	1,174,645,795
次期繰越損益金	△ 117,834,086
(D) 受益権総口数	1,174,645,795口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,997円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,308,208,434円
 期中追加設定元本額 20,270,748円
 期中一部解約元本額 153,833,387円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.8997円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	1,079,452,694円
三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替アクティブヘッジ>(毎月決算型)	95,193,101円
合計	1,174,645,795円

- ③純資産総額が元本額を下回っており、その差額は117,834,086円です。

○損益の状況 (2019年11月6日~2020年5月7日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	円 37,699,155
受取利息	37,701,491
支払利息	△ 2,336
(B) 有価証券売買損益	△296,580,542
売買益	25,978,929
売買損	△322,559,471
(C) 保管費用等	△ 540,243
(D) 当期損益金(A+B+C)	△259,421,630
(E) 前期繰越損益金	155,374,905
(F) 追加信託差損益金	△ 1,570,748
(G) 解約差損益金	△ 12,216,613
(H) 計(D+E+F+G)	△117,834,086
次期繰越損益金(H)	△117,834,086

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。